

関西大学経済・政治研究所 第204回産業セミナー

聴講自由

【開講の挨拶】

大阪（関西）の社会労働運動は、様々な争点や要求をめぐって展開されてきた。現在の政治・経済的状况や新たな社会運動の展開を見る際には、歴史から現在を照射し、社会・経済・政治・法律（裁判）・教育等の各分野で検討する必要がある。それ故、過去・現在・未来という時間軸を考慮に入れながら、国家・企業と個人を媒介する運動のあり方を考えることが求められる。今回は、「歴史」と「裁判」という2つのテーマで報告する。

＜大阪の社会労働運動と政治経済研究班主幹 高作正博＞

日 時：平成25年12月11日(水)13:00～16:10
会 場：りそな銀行大阪本社地下2階講堂

(大阪府中央区備後町2-2-1 地下鉄堺筋線「堺筋本町」駅17番出口より徒歩、北へ約100m)

【テーマと報告者】

「ナマの資料から見る大阪の社会労働運動史」

大阪の社会労働運動と政治経済研究班委嘱研究員

大阪産業労働資料館館長

谷 合 佳代子

「大阪の社会労働運動と裁判

－到達点と課題を探る－

大阪の社会労働運動と政治経済研究班主幹

法学部教授

高 作 正 博

- ◆ 対象者 経営者、企業・行政関係者、社会人
- ◆ 聴講自由 参加ご希望の方は、当日会場にお越しください。(定員200名)
- ◆ 連絡先 〒564-8680 吹田市山手町3丁目3番35号
関西大学研究所事務グループ TEL (06) 6368-1179/FAX (06) 6339-7721
<http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/>



主 催 関西大学経済・政治研究所
後 援 大阪商工会議所
大阪市工業会連合会
大阪市産業経営協会
株式会社りそな銀行